

第5回 生物系研究室セミナー

コオノオナシカワゲラの生活史と本種の羽化による水域から陸域への窒素移行量の推定
武田悠太(塘研・修士1年)

pHが低く、魚類も生息しないため毒水河川とも呼ばれる酸川ですが、コオノオナシカワゲラが高密度で生息しています。しかし、本種に関しては未知な点が多いのが現状です。本発表では、現時点で明らかになってきた本種の生活史と、羽化によって陸域へ持ち出される窒素量を推定した結果についてご紹介いたします。



福島県北部の海岸に設けられた海岸湿地保護区の植物相と植生
渡邊祐紀(黒沢研・修士2年)

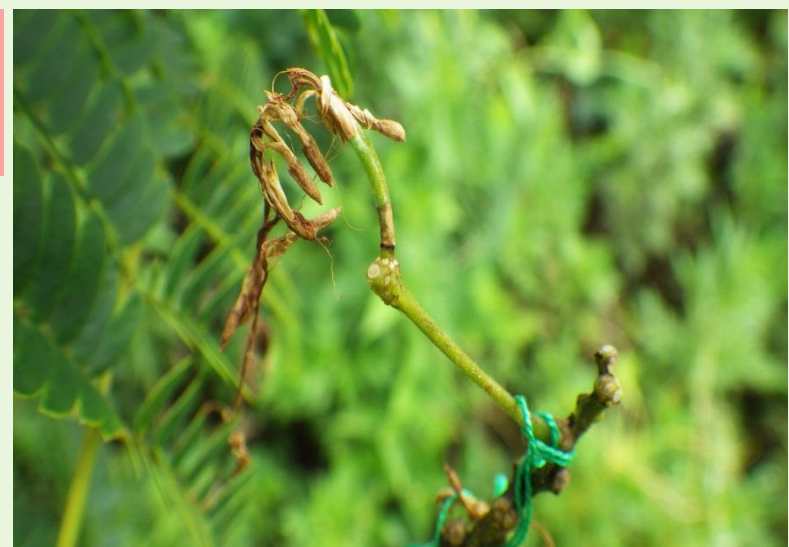
東日本大震災に伴う津波によって海岸の植生は大きく変化しました。福島県では植物保全の為に複数の保護区が設定されました。本発表では、植物相調査と植生調査から明らかになってきた保護区の成果と課題をご報告いたします。



ネムノキが持つ頂生花と側生花と繁殖機能の比較

加藤沙織(黒沢研・修士2年)

今まで注目されてこなかったネムノキの二型花性を形態と繁殖機能に関する視点から比較研究いたしました。本発表ではわかってきたネムノキの二型花性についてと、一般的に知られる二型花性との違いについても合せてご紹介いたします。



生物系研究室セミナーは、生物学の教育研究の活性化を目的として、毎月1回程度行っています。共生システム理工学類生物系の5研究室(兼子研, 木村研, 黒沢研, 塘研, 難波研)と人間発達文化学類の1研究室(水澤研)で運営していますが、興味のある方はどなたでも参加できます(特に、6研究室配属希望の1, 2年生歓迎)。

お問い合わせ先: 黒沢高秀 e-mail:kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp

今後の予定

12月16日 遠藤(黒沢研M1), 難波(塘研M1)

1月20日 尾本(木村研M1), 斎藤(難波研M1), 山田(難波研M1)